

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ
第79回国民スポーツ大会 2025



第79回

国民スポーツ大会 ゲートボール競技会

びわ湖花火大会



長浜城・紅葉



2025
キャッフィー



2025
チャッフィー

2025年9月6日(土)・7日(日) 滋賀県長浜市 県民共済ドーム長浜

◆主催  公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・滋賀県・ 公益財団法人日本ゲートボール連合・長浜市

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ
第79回国民スポーツ大会 2025



第79回国民スポーツ大会

ゲートボール競技会

目 次

あいさつ	2
歓迎のことば	5
大会役員	7
開催実施要項	13
競技運営要項	16
式次第	17
競技日程	18
組合せ表	19
競技の見方	21
都道府県別参加人員	22
参加監督・選手一覧	23
過去の成績一覧	27
競技結果	28
競技会会場図	29



あいさつ

第79回国民スポーツ大会会長
公益財団法人日本スポーツ協会
会長 遠藤 利明

約400万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第79回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年6月、14年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和21（1946）年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年3月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣 あべ 俊子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。



あいさつ

公益財団法人日本ゲートボール連合
専務理事 今 川 啓 一

わた SHIGA 輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会〔公開競技〕ゲートボール競技会を開催するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

ゲートボールは青少年の健全育成を目的として、北海道で誕生しました。年齢、性別、さらには身体のハンデに関わらず、一人一人が持つ技術、チームワークを織りなし、誰もがいつでも楽しめる生涯スポーツとして、今日では日本をはじめ、世界中で青少年から高齢者まで幅広い年齢層の方々に親しまれるとともに、高い個人技と戦略性そしてチームワークが要求されるスポーツとして発展してまいりました。

本競技会に出場される選手の皆様におかれましては、全国の厳しい予選を勝ち抜いて、栄えある都道府県の代表として、今日まで励まれてきた練習の成果を十分に発揮されるとともに、仲間との親睦を深めながら「感動」を共有していただき、ぜひ世界へ飛翔するご活躍をお見せいただけることと期待しております。

結びに、本競技会の実施にあたり、ご尽力いただきました滋賀県、長浜市並びに滋賀県ゲートボール連盟をはじめとする関係各位に心から感謝と敬意を表し、私のあいさつといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
実行委員会会長
滋賀県知事 三日月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしていまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
長浜市実行委員会会長
長浜市長 浅見 宣 義

第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」公開競技ゲートボール競技会が、全国各地から選手・監督をはじめ、多くの皆様をお迎えし、長浜市で盛大に開催できますことは誠に光栄であり、市民を代表して心から歓迎いたします。

滋賀県での国スポは、昭和56年の「びわこ国体」以来44年ぶり2度目の開催となります。本大会の開催に際し、大会期間中、本市に訪れるすべての方々を心のこもったおもてなしでお迎えできますよう、市民一丸となって準備を進めてまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、郷土の代表として、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮され、素晴らしい成績を収められますとともに、参加選手や地域の方々との交流、親睦の輪を広げていただき、本大会が皆様にとって思い出に残る大会となりますことをお祈り申し上げます。

さて、本市は豊臣秀吉公の出世の地として縁が深く、織田信長公のもとで戦った「姉川合戦場」や「小谷城跡」、初代城主となった「長浜城」、天下人を決定付けた「賤ヶ岳古戦場」などがあり、戦って日本一を決めるに相応しい歴史ある地域です。また、400年以上続く伝統行事「長浜曳山祭」、雄大なびわ湖に浮かぶ神の島「竹生島」、現存する最古の駅舎「旧長浜駅舎」など、時代を超えて多くの文化遺産を持つ県内有数の観光都市でもあります。皆様には、時間の許す限り長浜市の魅力も存分に感じていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申しあげますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘・ご活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

大会役員

2025年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	室伏 広治	三日月 大造	河本 英典	
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗	橋本 聖子	安西 孝之
	岡崎 助一	越川 均	坂元 要	勝田 隆
	室伏 由佳	村松 さやか	湯川 和之	植田 実
	櫻井 由香	鹿島 丈博	吉岡 成子	石井 砂織
	笠師 久美子	飯塚 悟	久保 正美	浦 美奈子
	木平 芳定	中嶋 実	小寺 洋	桐木 陽子
	旗生 康之	池田 めぐみ	工藤 保子	久保 直生
	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之	金子 日出澄
	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久	石丸 元国
	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子
	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄	安藤 淳
	上治 丈太郎	湧永 寛仁	上原 絵美	佐藤 健司
	馬場 美香	山口 宏	南 和文	宮永 美寿津
	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章	大野 淳
	加藤 出	田村 恒彦	蒔田 実	山崎 勝洋
	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周	村田 利衛
	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博	中村 ゆり子
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美	井上 弘
	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成	大澤 明美
	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫	中山 俊行
	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之	田邊 哲人
	城門 政文	前川 恵	上杉 晃央	布村 幸彦
	茂野 直久	生島 典明	大沢 陽子	谷藤 節雄
	熊谷 幸一	千葉 玲佳	奥山 雅信	酒井 祐一
	藤田 知己	北條 俊明	田子 昌之	新井 彰
	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄	井出 仁
	今西 博一	中村 宏平	松本 智広	森山 喜博
	南部 則雄	福永 秀樹	高橋 繁浩	山本 健次
	増田 和伯	猪飼 敏之	山本 誠三	松本 恭幸

顧	問	船田一彦	奥田晃	横尾英治	小西慎太郎
		近藤一幸	堂本ひさ美	河村祐一	渡邊浩三
		田中稔	馬越祐希	青木章泰	城戸英敏
		藤本武	小柳勝彦	辛木秀子	宮成康蔵
		藤本格	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
		大河原嘉朗	川上隆弘	佐藤廣子	奈良隆
		小菅司	宇津木妙子	菊幸一	小林久美
		寺澤正孝	山口純子	武部新宏	野中厚彦
		金城泰邦	赤松健行	増子宏子	矢野和彦
		茂里毅	浅野敦行	有村治子	上野賢一郎
		大岡敏孝	嘉田由紀子	北野裕子	小寺裕雄
		こやり隆史	斎藤アレックス	武村展英	宮本和宏
		目片信悟	村井泰彦	北村嘉英	小椋正清
		伊藤定勉	草野聖地	杉浦和人	永浜明子
		有森裕子	鈴木大地	宮本恒靖	深澤祐二
		坂田東一	三須和泰	仲間達也	川合俊一
		藤田直志	三屋裕子	富山英明	馬場益弘
		砂岡良治	金丸恭文	安道光二	河田正也
		豊田章男	千玄室	中村真一	牧島かれん
		村井満	永谷喜一郎	真砂威成	土田雅人
		町田幸男	大野正次	世耕弘成	笹川善弘
		番匠幸一郎	久保素子	丹羽秀樹	岩城光英
		寶馨	荒川裕生	小谷知也	達増拓也
		鶴田有司	吉村美栄子	北村清士	大井川和彦
		福田富一	遠藤祐司	大野元裕	熊谷俊人
		山本博	岡田伸浩	花角英世	新田八朗
		馳浩	杉本達治	高野剛章	阿部守一
		田口義隆	中谷多加二	大村秀彦	伊藤歳恭
		西脇隆俊	高橋知史	齋藤元彦	池田誠也
		宮崎泉	林昭男	丸山達也	越宗孝昌
		苅田知英	村岡嗣政	後藤田正純	楨田實吾
		大塚岩男	服部誠太郎	山口祥義	大石賢一
		甲斐隆博	麻生益直	日隈俊郎	塩田康一
		玉城デニー			

委員長
副委員長
総務委員

有	村	國	俊
小	河	文	人
加	藤	誠	一
桐	田	真	人
佐	口	佳	恵
清	水	鉄	次
菅	沼	利	紀
谷		成	隆
中	沢	啓	子
本	田	秀	樹
東			勝
野	村	早	苗
松	田	千	春
山	田	忠	利
伊	吹	信	人
保	田		誠
北	川	純	二
小	西		理
岩	永	裕	貴
角	田	航	也
寺	本	純	二
堤		清	司
野	村	昌	弘
武	田	英	明
山	本		順
上	西		保
田	畑	太	郎
市	川	忠	稔
太	田	千	恵子

加	藤	光	国
三ヶ	田	礼	一
宇	野		武

総務委員

委員

熊谷利彦
江橋千晴
青木克憲
平野了
松本康夫
渡邊圭太郎
寺澤淳
中梶秀則
鈴木章広
田口大祐
菅原正幸
渡辺久雄
井本亘
吉田由美子
金子裕
政岡航大
寺垣佑介
南野芳広
門久仁裕
加藤雄樹
太田真美
金田貴人
村松達也
杉浦美紀
高橋健二
松本守正
久次米和成
笠井康行
吉野賢一郎
高野瑞洋
須藤勇司
東瀬義人
井上哲
竹内俊勝
寺崎雅巳
渡嘉敷通之

佐橋誠
加藤弘和
安井和治
高橋聖一
福士幸洋
佐久間裕司
黒川重男
安藤正美
川口巖
平井宏治
高橋昇
三井千壽
関根明子
杉本好二
野口友里
坊百花
田中遥大
池本佳子
清水直子
鈴木敦規
高野正暢
新保克行
井澤隆司
藤田宗浩
吉村綾子
松本孝行
高尾鷺一成
横山美哉
遠藤真司
角田雅洋
酒井元彦
今松健治
荒木健吉

田内慎也
小澤大樹
西島義典
吉村政弘
栗原崇
品田奥義
舟喜信生
加藤憲二
和田潔
岸川剛之
長南哲生
鈴木信吾
中山二三男
東野真理子
品治恵子
小河原百映
宇高章広
横江弘昭
高井和紀
瀬谷尚男
岩埜直史
戒田由香里
林剛史
曾我学
中嶋純也
田口新也
辻岡英幸
松山度良
山元尚史
千葉雅也
柄澤宏稔
碓井守弘
沼田直彦
吉岡公一

山下栄次
佐野博之
若月等
細野光史
濱野勉
高野修
宮川良輔
岡泉茂
西原斗司男
衛藤敬輔
山中博史
越前浩司
川口雅三
富澤佑也
田口雅紀
近藤潤輝
沼波茂紀
見田大輔
大貫祐紀
深谷晶香
児玉晴伸
稲葉哲也
木原康博
前田英史
河田義朗
前本昌宏
濱城直人
宮間裕晃
菅内延和
竹田知己
武部長右衛門
田部好孝
刈谷淳一郎
黒木淳一郎

競 技 会 役 員

名誉会長 浅見 宣義 長浜市長

会 長 今川 啓一 公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事

副 会 長 長谷 武二 長浜市スポーツ協会 会長
酒井 康雄 滋賀県ゲートボール連盟 会長

顧 問 伊藤 喜久雄 長浜市議会 議長
織田 恭淳 長浜市教育委員会 教育長

参 与

五十嵐 隆男	大宮 仁	川村 公司	後藤 昇	加藤 義光	後藤 雅司	佐藤 一八	石野 雅昭	船田 元
土屋 品子	臼井 正一	朝日 健太郎	柳下 剛	木村 正勝	中川 忠昭	吉田 修	宮本 俊	浅野 伸二
和田 昌朝	松村 多美夫	大石 長美	鈴木 克昌	亀井 一重	鈴木 信久	前野 俊彦	望月 登	辻本 隼夫
東裏 登志郎	坂本 喜好	林 芳臣	池田 輝美	徳島 寛	工藤 良男	中村 太一	五井 敏勝	土居 英雄
上田 貢太郎	池本 直樹	金本 仁珠	潮屋 誠次	伊藤 武康	神力 一道	水久保 豊	児玉 義人	當間 盛夫
工藤 保子	久米 信行	下光 輝一	谷藤 正志	野本 美穂	花岡 伸和	前田 晃	松尾 哲矢	望月 美佐緒
朝日田 智昭	小山 さなえ	玉澤 正徳	花田 惇	村上 英人	渡辺 恵理			

委 員 長

野上 順

副委員長

藤田 誠一

委 員

藤 知子 小倉 雅文 藤井 建作

競 技 役 員

総務委員長

中川 政夫

総務副委員長

西本 信也 山口 芳弘

総務委員

新井 正司 北川 ふみ子 三橋 滋 中川 伊佐緒 松田 恵 松田 純子 山口 凜太郎 山川 景子

競技委員長

田中 勇

競技副委員長

金田 寛志

競技委員

浜野 治子 猪飼 忠司 坂田 晋 前川 絹子 笹尾 嘉隆 倉田 一良 吉永 郁代 竹村 順子 平田 松寿
奥村 敏裕 山本 清 福原 一馬 山本 政和 川瀬 保雄 山本 廣和 橋本 八千代 西野 光子 藤田 善剛
堀田 源四郎 西川 英昭 池田 富和 山中 義昭 塚越 八重子 藤田 良治 藤居 一男 八木 博 野本 孝造
仲谷 登美子 雲出 達夫 中村 正 新井 守 赤井 正 岩中 利秀 鐘居 太 古川 藤和 井花 勝行
井上 芳美 雲出 豊 澤村 新一郎

審判委員長

富岡 薫

審判副委員長

清水 典嗣

審判委員

北村 幸雄 泉 勝吾 中野 宏 西村 政子 木戸口 京子 板谷 豊子 谷口 幸三 間塚 薫 山本 元伸
桑原 國輝 石橋 千代美 石橋 義朗 安井 清子 橋口 良正 秋篠 青子 安居 吉隆 西川 静雄 國本 智子
柿添 久嗣 田附 孝一 福原 宜寛 福原 國廣 中澤 勇 山本 和男 青木 隆明 宿谷 廣美 小林 正征
中村 和夫 大橋 良洋 引山 則尚 北川 龍夫 梅本 一元 藤森 久男 山岡 和芳 二宮 芳和 西尾 静枝
辰巳 修 新木 藤男 大比叡 外美 西村 まき子 一居 渺 武田 正 中川 ひとみ 柳田 和利 金澤 吉治
中川 貞夫 澤邑 茂光 野一色 孝子 熊谷 昇助 平井 あきこ 宮沢 他香彦 堀井 三郎 中村 隆法 大森 国昭
東川 芳信 中川 保太郎 稲葉 英夫 吉近 重一 北川 定男 多谷 清 小寺 孝 保木 輝雄 片桐 由利子

記録委員長

小林 和之

記録副委員長

谷口 百合子

記録委員

高田 吉次 川端 茂夫

開催実施要項

1 期 日 2025 年 9 月 6 日（土）から 9 月 7 日（日）まで（2 日間）

種 別	9 月 6 日（土）	9 月 7 日（日）
男 子	リ ー グ 戦	決勝トーナメント戦
女 子	リ ー グ 戦	決勝トーナメント戦

2 会 場 長浜市 県民共済ドーム長浜（滋賀県立長浜ドーム）

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	チーム数	小 計	合 計（人）
男 子	1	8	16	144	288
女 子	1	8	16	144	

4 競技上の規程及び方法

（1）競技規則

ア 競技は、公益財団法人日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則による。

イ インサイドラインとアウトサイドラインの間隔は、50 cm～1 m とする。

（2）試合の方法

ア 都道府県対抗形式により、種別ごとにリーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。

① リーグ戦

16 チームを 4 チームずつ 4 つのグループに分け、グループごとにリーグ戦を行い、順位を決定する。

各グループの上位 2 チームが決勝トーナメント戦に進出する。

※ リーグ戦の順位決定方法は、次の順序による。

a 勝ち数

b 得失点差

c 対戦結果

d a～c により決定しない場合は、抽選による。

② 決勝トーナメント戦

各グループの上位 2 チームによりトーナメント戦を行い、順位を決定する。

（3 位決定戦を行う。）

イ 競技終了時に両チーム同点で、チームの総得点の内容で勝敗が決定しない場合には、公式ゲートボール競技規則第 7 条第 2 項 2 による。

5 予選方法

（1）本大会実施要項に準じて、各地域ゲートボール協議会において予選大会を実施して、本大会に出場すべき代表チームを決定する。ただし、本大会に出場できる都道府県は、各種別上限 1 チームとする。

(2) 地域ゲートボール協議会区分及び代表チーム数は、次表のとおりとする。

地域協議会	加盟都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	2	2
北信越	新潟・長野・富山・石川・福井	2	2
北関東	茨城・栃木・群馬・埼玉	1	1
南関東	千葉・東京・神奈川・山梨	2	2
東海	静岡・愛知・三重・岐阜	1	1
近畿	京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	2	2
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	1	1
四国	香川・徳島・愛媛・高知	1	1
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	2	2
開催県	滋賀	1	1
合計		16	16

6 参加資格、所属都道府県及びチーム編成

(1) 参加資格

- ア 公益財団法人日本ゲートボール連合加盟団体に登録された者で構成されたチームであること。また、チームには必ず監督を置くこと。
- イ 選手は、中学生を含まない2010年4月1日以前に生まれた者とする。
- ウ 監督は、種別を重複して参加することはできない。
- エ 監督及び選手は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。
- オ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボールコーチ1の有資格者とする。

(2) 所属都道府県

監督及び選手の所属都道府県は、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかが属する都道府県から選択することができるが、選択した同一の都道府県ゲートボール団体に登録していなければならない。

ただし、地域ゲートボール協議会における予選大会に参加し、都道府県の代表として既に決定した後、やむを得ぬ理由により上記条件を満たさなくなった場合、公益財団法人日本ゲートボール連合が認めた時に限り、予選大会参加時の都道府県から参加することができる。

(3) チーム編成

各都道府県の男子及び女子の代表チームは、単独、補強または選抜のいずれかの方法によりチームを編成する。また、チーム名は都道府県名とする。

7 表彰

- (1) 各種別の第1位から第3位までの都道府県に、賞状を授与する。

8 参加申込み方法

- (1) 所定の「参加申込書」に必要項目を記入の上、所属する都道府県加盟団体代表者の承認を得て、2025年7月25日(金)までに下記宛にメールで提出すること。

申 込 先	宛 先	提出部数
公益財団法人 日本ゲートボール連合	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11-2 日本財団第二ビル7階 TEL 03-6206-7623 FAX 03-6206-7624 MAIL teamphoto@gateball.jp	1部

- (2) 参加申し込み後に変更が生じた場合は、所定の用紙に必要項目を記入の上、2025年8月8日(金)までに、上記申込先にメールまたは郵送で提出すること。(必着)

9 参加負担金

- (1) 監督及び選手の参加負担金は1人当たり2,000円とする。
(2) 参加負担金は、申込提出時に所属する都道府県加盟団体を通じて納入する。

10 参加上の注意

- (1) 服装
ア 先発競技者及び交代して出場する競技者は、公益財団法人日本ゲートボール連合が用意した打順の番号表示を着用しなければならない。
イ ユニフォームへの広告表示は認めない。
(2) 監督及び選手は、各自の責任において健康管理に十分配慮の上参加すること。
(3) 競技中に負傷等が発生した場合は、主催者にて応急処置を行うとともに、主催者が加入する傷害保険の補償範囲内にて対応するが、以降の責任は負わない。
(4) 参加資格に違反等、その他不都合な行為があったときは、そのチームの出場を停止することもある。

11 個人情報の取り扱いについて

参加申込書(同意書を含む)に記載された個人情報については、以下の「わた SHIGA 輝く国スポ」に関する業務に使用する。また、申込み時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) 「わた SHIGA 輝く国スポ」参加意思及び参加人数の確認
(2) 競技参加資格の確認(年齢、性別、所属、保護者の同意など)
(3) 参加案内等の送付
(4) 競技別プログラムの作成
(5) 賞状等の筆耕
(6) 競技の結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等への掲載

12 その他

監督会議・組合せ抽選会

日 時 2025年9月5日(金) 午後2時

会 場 県民共済ドーム長浜内会議室 〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1320
TEL 0749-64-0808

競技運営要項

1. 本大会に参加するすべての監督および競技者はドーピング検査を受ける可能性がある。
2. インサイドラインの区画は幅5cmのテープを使用し、アウトサイドラインとフリーゾーンの区画はロープを使用する。
3. 競技会使用球は主催者が認定品を用意する。
4. 打順番号は、高さ約7cmで表示された腕章形式とし、着用位置は左腕上部とする。
5. 監督・主将の表示マークはチームが用意する。
6. 競技開始前の確認時および競技出場時に統一したユニフォームを着用しない競技者がいるチームは不正出場とし、その競技は没収となり、相手チームの勝ちとする。
7. 競技の没収があった場合は次のとおりとする。
 - (1) 競技の没収についての得点は定めない。
 - (2) 没収より前までの競技の成績はそのままとする。
 - (3) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、それまでの成績にかかわらず、そのリーグの代表にならない。
 - (4) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、この競技会において、没収より後の競技に参加することができない。
8. 競技時間等の変更を余儀なくされた場合については実施本部が決定する。
9. 上記1～8およびその他の事象が発生した場合の最終判断は実施本部が決定する。

開始式 次第

9月6日(土) 10:15～10:30

開始式

1. 開式通告
2. 歓迎のことば
3. 来賓紹介
4. 選手宣誓
5. 閉式通告

表彰式 次第

9月7日(日) 14:00～14:20

表彰式

1. 開式通告
2. 表 彰
3. 競技会副会長挨拶
4. 閉式通告

競 技 日 程

監督会議・組合せ抽選会	9月5日（金）	14:00 ～ 16:00	県民共済ドーム長浜内 会議室
-------------	---------	---------------	----------------

会場	期日	時間	区分	試合数	【 男 子 】	【 女 子 】
県民共済ドーム長浜	【第一日】 9月6日（土）	9:30 ～ 10:00	チ ー ム 受 付			
			リ ー グ 戦			
		11:00 ～ 11:30	第 1 試 合	（8 試合）	A : B	A : B
		11:45 ～ 12:15	第 2 試 合 昼 食	（8 試合）	C : D	C : D
		13:00 ～ 13:30	第 3 試 合	（8 試合）	D : A	D : A
		13:45 ～ 14:15	第 4 試 合	（8 試合）	B : C	B : C
		14:45 ～ 15:15	第 5 試 合	（8 試合）	C : A	C : A
		15:30 ～ 16:00	第 6 試 合	（8 試合）	B : D	B : D
	【第二日】 9月7日（日）	8:30 ～ 8:50	チ ー ム 受 付			
			決 勝 ト ー ナ メ ン ト 戦			
		9:10 ～ 9:40	1 回 戦	（8 試合）	M1・M3 M2・M4	F1・F3 F2・F4
		9:55 ～ 10:25	準 決 勝	（4 試合）	M5・M6	F5・F6
		10:55 ～ 11:25	3 位 決 定 戦	（2 試合）	M7	F7
		11:45 ～ 12:15	決 勝	（1 試合）		F8
		12:30 ～ 13:00	決 勝	（1 試合）	M8	
		13:15 ～ 13:45	決 勝	（1 試合）		

表 彰 式	9月7日（日）	14:00 ～ 14:20	県民共済ドーム長浜
-------	---------	---------------	-----------

組 合 せ 表

【 男 子 】

9月6日（土）リーグ戦

コート番号		5									
グループM1		A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A											
B											
C											
D											

コート番号		6									
グループM2		A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A											
B											
C											
D											

コート番号		7									
グループM3		A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A											
B											
C											
D											

コート番号		8									
グループM4		A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A											
B											
C											
D											

都 道 府 県 名	9月7日（日）			
	1 回戦	準決勝	3 位決定戦	決勝
1（グループM 1 第1位）	3 コー ト M1 9:10	4 コー ト M5 10:55	3 コー ト M8 13:15	
2（グループM 4 第2位）				
3（グループM 2 第1位）	3 コー ト M2 9:55			
4（グループM 3 第2位）				
5（グループM 3 第1位）	4 コー ト M3 9:10	3 コー ト M6 10:55		
6（グループM 2 第2位）				
7（グループM 4 第1位）	4 コー ト M4 9:55		3 位決定戦	
8（グループM 1 第2位）			6 コー ト M7 11:45	

組 合 せ 表

【 女 子 】

9月6日（土）リーグ戦

コート番号		1								
グループ F 1	A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A										
B										
C										
D										

コート番号		2								
グループ F 2	A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A										
B										
C										
D										

コート番号				3						
グループ F 3	A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A										
B										
C										
D										

コート番号				4						
グループ F 4	A	B	C	D	勝	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
A										
B										
C										
D										

都 道 府 県 名	9 月 7 日（日）			
	1 回戦	準決勝	3 位決定戦	決勝
1（グループ F 1 第1位）	5 コー ト F1 9:10	6 コー ト F5 10:55		5 コー ト F8 12:30
2（グループ F 4 第2位）				
3（グループ F 2 第1位）	5 コー ト F2 9:55			
4（グループ F 3 第2位）				
5（グループ F 3 第1位）	6 コー ト F3 9:10	5 コー ト F6 10:55		
6（グループ F 2 第2位）				
7（グループ F 4 第1位）	6 コー ト F4 9:55		3 位決定戦	
8（グループ F 1 第2位）			4 コー ト F7 11:45	

競技の見方

【競技の紹介】

ゲートボールは日本生まれのスポーツです。1947年、北海道在住の鈴木栄治氏が、子どものために、ヨーロッパの伝統的な競技「クロッカー」をヒントに、手軽にできるスポーツとして考案しました。

競技はT字型のスティックでボールを打ち、3つのゲートを通わせ、コート中央のゴールボールに当てて上がることを競います。また、手軽にできるだけなく、戦略性に富み、常に頭を使うスポーツなので、精神面での若さを維持・向上することができます。

国内はもとより海外にも普及し、アジア地域を中心に50をこえる国・地域にて楽しんでいる国際的なスポーツになっています。4年に一度、世界一を決める国際大会も行われています。

【見どころ】

単に「ゲート通過」や「上がり」を競い合うだけではなく、一打ごとに変化するボールの配置を読み、「タッチ」や「スパーク」を組み合わせながらチームプレーによるボールの連携が勝敗のカギとなる超戦略的スポーツです。

試合時間は30分間で、プレイヤー同士が接触しない安全なノンコンタクト・スポーツであり、体力差も関係ないため、年齢・性別のハンデなく、みんなで一緒に楽しむことができます。

同世代での試合はもちろんのこと、世代をこえたファミリーチームの対戦、子ども対大人の対戦など、いろいろな交流が楽しめるスポーツです。



都道府県別参加人員

地域協議会	番号	都道府県	男子		女子		合 計		総 計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北海道	1	北海道	1	5			1	5	6
東北	2	青森県			1	6	1	6	7
	3	岩手県	1	6	1	6	2	12	14
	4	宮城県							
	5	秋田県							
	6	山形県	1	6			1	6	7
	7	福島県							
北関東	8	茨城県	1	5			1	5	6
	9	栃木県							
	10	群馬県							
	11	埼玉県			1	6	1	6	7
南関東	12	千葉県			1	6	1	6	7
	13	東京都	1	6	1	6	2	12	14
	14	神奈川県							
	15	山梨県	1	5			1	5	6
北信越	16	新潟県	1	8	1	6	2	14	16
	17	長野県							
	18	富山県							
	19	石川県	1	7	1	5	2	12	14
	20	福井県							
東海	21	静岡県							
	22	愛知県							
	23	三重県			1	6	1	6	7
	24	岐阜県	1	6			1	6	7
近畿	25	滋賀県	1	6	1	5	2	11	13
	26	京都府	1	6			1	6	7
	27	大阪府			1	5	1	5	6
	28	兵庫県							
	29	奈良県	1	5			1	5	6
	30	和歌山県			1	5	1	5	6
中国	31	鳥取県							
	32	島根県							
	33	岡山県							
	34	広島県	1	8	1	6	2	14	16
	35	山口県							
四国	36	香川県			1	5	1	5	6
	37	徳島県	1	8			1	8	9
	38	愛媛県							
	39	高知県							
九州	40	福岡県	1	6	1	5	2	11	13
	41	佐賀県							
	42	長崎県							
	43	熊本県							
	44	大分県			1	8	1	8	9
	45	宮崎県							
	46	鹿児島県	1	6			1	6	7
	47	沖縄県							
合 計			16	99	15	86	31	185	216

北海道



監督 畠山 政則

競技者

鹿内 逸夫	(75)
丸山 政敏	(75)
松田 利一	(75)
蒔田 哲雄	(74)
石田 亨	(72)

東京都



監督 小泉 敏章

競技者

薬丸 岳春	(74)
阿部 知尋	(45)
横坂 祥	(39)
関口 遼介	(37)
真鍋 大也	(35)
瀬戸 卓弥	(28)

岩手県



監督 鈴木 琢夫

競技者

庄子 久吉	(75)
阿部 裕巳	(61)
川村 俊哉	(32)
叶城 伸	(25)
浅沼 滯門	(25)
切明畑 智稀	(18)

山梨県



監督 古屋 文治

競技者

広瀬 正	(88)
川崎 光旺	(81)
竹内 茂雄	(76)
徳良 利朗	(75)
中村 幸男	(71)

山形県



監督 小松 京子

競技者

奥山 篤弘	(85)
後藤 雅司	(81)
大沼 富士夫	(71)
小松 仁	(43)
田中 佑也	(31)
加藤 拓実	(25)

新潟県



監督 星野 金二

競技者

田中 潤	(55)
大縫 裕樹	(46)
渡辺 裕之	(41)
金子 将也	(39)
八百板 圭	(34)
近藤 健史	(32)
臼井 真司	(31)
臼井 潤	(30)

茨城県



監督 佐賀 功

競技者

霧生 秀明	(80)
船平 雅生	(80)
米澤 幸二	(69)
米澤 朋晃	(28)
副土 永和	(20)

石川県



監督 佐藤 左一郎

競技者

橋本 広昭	(66)
松田 秀樹	(53)
土上 晶樹	(50)
干場 健吾	(47)
辻 博康	(42)
杉中 弘幸	(39)
鍋島 惇	(33)

※ 出場選手の年齢は、2025年4月1日現在です。

※ 競技者の記載は、年齢順です。

岐 阜 県



監 督 島田 愛菜
競技者
高田 光男 (72)
島田 龍明 (36)
福井 智大 (35)
菅野 孝太 (33)
島田 拓実 (31)
境 健吾 (27)

徳 島 県



監 督 井内 宏隆
競技者
仁尾 慎太郎 (51)
中村 太一 (51)
後藤田 雅樹 (51)
藤江 守 (48)
奥山 達也 (47)
上野 淳 (38)
米山 知宏 (27)
村田 温斗 (22)

京 都 府



監 督 松下 鎮雄
競技者
豊嶋 伸作 (79)
能勢 茂 (75)
井尻 卓男 (75)
豊嶋 秋義 (75)
三澤 哲也 (71)
鈴木 省樹 (71)

福 岡 県



監 督 池本 純代
競技者
植永 敏治 (76)
石倉 英樹 (73)
池本 直樹 (54)
宮脇 裕二 (50)
宮脇 英一 (46)
池本 知仁 (28)

奈 良 県



監 督 森本 好子
競技者
辻本 隼夫 (87)
桜井 三千男 (83)
辻井 武男 (82)
森本 平男 (76)
前田 博明 (71)

鹿 児 島 県



監 督 松崎 憲一
競技者
山下 貴充 (53)
松崎 久志 (49)
楠見 慎太郎 (42)
曾山 喬貴 (41)
郷原 章平 (32)
郷原 悠平 (32)

広 島 県



監 督 東 照実
競技者
飯田 芳幸 (36)
森 祐太 (29)
田中 雄也 (27)
北木 翔平 (26)
丹山 孝誠 (26)
木村 匠 (22)
林 篤希 (16)
廣戸 翔輝 (16)

滋 賀 県



監 督 富永 啓治
競技者
中村 喜代司 (83)
竹村 貞男 (78)
森田 茂一 (76)
安井 睦 (72)
米原 宏司 (69)
中西 重治 (45)

※ 出場選手の年齢は、2025 年4月1日現在です。

※ 競技者の記載は、年齢順です。

青 森 県



監 督 高橋 京子

競技者

長内 よつ (86)
東本 睦子 (83)
藤田 ツル (81)
舘山 佳子 (77)
木村 光子 (41)
蠣崎 梨央 (25)

東 京 都



監 督 鈴木 直人

競技者

清水 欣子 (77)
依田 洋子 (77)
鈴木 加代子 (77)
鈴木 好江 (70)
住友 由佳 (54)
川本 薫子 (42)

岩 手 県



監 督 谷藤 正志

競技者

浅沼 スギ (74)
北口 富美子 (71)
木村 洋子 (67)
浅沼 由美子 (57)
上田 葵 (28)
掘間 葉月 (19)

新 潟 県



監 督 小林 勝美

競技者

田崎 フジイ (83)
久保田 千代 (76)
渋谷 ヨネ (76)
三本 恵美子 (76)
柿本 艶子 (72)
五十嵐 雅子 (70)

埼 玉 県



監 督 相馬 嘉

競技者

恩田 清子 (75)
船木 亜貴子 (39)
岩野 まなみ (33)
入江 裕香 (32)
相馬 美緒 (31)
善方 麻緒 (22)

石 川 県



監 督 小倉 範子

競技者

本多 スミエ (78)
杉本 富美子 (76)
石原 きよみ (75)
山中 さち子 (73)
高橋 いる子 (67)

千 葉 県



監 督 小野島 純一

競技者

本宮 玲子 (78)
入江 良恵 (72)
鈴木 瑞恵 (67)
室井 幸子 (67)
中村 加奈 (50)
遠藤 麻衣 (30)

三 重 県



監 督 小林 茂

競技者

川下 公子 (76)
前川 照子 (69)
岡本 京 (49)
中西 祥子 (45)
塚本 頌子 (42)
塚本 侑那 (18)

※ 出場選手の年齢は、2025年4月1日現在です。

※ 競技者の記載は、年齢順です。

大阪府



監督 永野 豊子
競技者
 鈴木 すゞ江 (90)
 辻井 まさえ (89)
 佐藤 薫子 (83)
 海田 和子 (73)
 松浦 恭枝 (73)

福岡県



監督 上川路 美香
競技者
 猪谷 田鶴子 (84)
 林 サト子 (78)
 分部 信子 (73)
 高尾 由美子 (71)
 久原 千恵 (70)

和歌山県



監督 刀祢 克彦
競技者
 榎本 千澄 (86)
 岩橋 環 (80)
 森 博子 (76)
 山本 すみ子 (74)
 棚野 一美 (72)

大分県



監督 姫野 順子
競技者
 本多 キヌエ (80)
 岩本 たか子 (79)
 宮川 とも子 (75)
 淵上 多美子 (74)
 清原 なるみ (73)
 藤原 康子 (69)
 萱嶋 洋子 (68)
 松本 幸枝 (62)

広島県



監督 政本 隆延
競技者
 津江 小百合 (62)
 三宅 雅子 (56)
 辛島 陽子 (50)
 大濱 綾香 (26)
 宗田 涼佳 (25)
 清水 菜穂 (25)

滋賀県



監督 山本 勉
競技者
 田中 光子 (81)
 伊藤 淑子 (80)
 宿谷 孝子 (77)
 坂東 暁美 (74)
 須田 ちづ子 (69)

香川県



監督 十河 功
競技者
 谷本 紀子 (86)
 寒川 槇子 (78)
 今池 順美 (76)
 松浦 勢津子 (74)
 十河 廣子 (74)

※ 出場選手の年齢は、2025年4月1日現在です。
 ※ 競技者の記載は、年齢順です。

過去の成績一覧

〔公開競技〕ゲートボール競技会

第70回 大会	「2015 紀の国わかやま国体」 平成27年9月5日（土）・6日（日）				和歌山県高野町 高野山森林公園スポーツ広場			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		岐阜県	鹿児島県	熊本県		大阪府	福井県	山梨県

第71回 大会	「2016 希望郷いわて国体」 平成28年9月17日（土）・18日（日）				岩手県花巻市 日居城野陸上競技場			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		青森県	新潟県	埼玉県		岩手県	福井県	東京都

第72回 大会	「2017 愛顔つなぐえひめ国体」 平成29年9月2日（土）・3日（日）				愛媛県松山市 北条スポーツセンター球技場			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		岐阜県	島根県	宮崎県		埼玉県	青森県	石川県

第73回 大会	「福井しあわせ元気国体 2018」 平成30年9月1日（土）・2日（日）				福井県若狭町 若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		岐阜県	香川県	栃木県		岩手県	福井県	大阪府

第74回 大会	「いきいき茨城ゆめ国体 2019」 平成31年8月31日（土）・9月1日（日）				茨城県行方市 北浦運動場 北浦第1グラウンド			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		岩手県	大分県	山形県		栃木県	神奈川県	茨城県

第77回 大会	「いちご一会とちぎ国体 2022」 令和4年9月3日（土）・9月4日（日）				栃木県那須郡那珂川町 那珂川町小川総合福祉センター園地			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		岐阜県	岩手県	栃木県		栃木県	神奈川県	山梨県

特別大会	「燃ゆる感動かごしま国体 2023」 令和5年9月23日（土）・9月24日（日）				鹿児島県指宿市 指宿市宮陸上競技場			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		岐阜県	鹿児島県	徳島県		埼玉県	大阪府	熊本県

第79回 大会	「SAGA2024」 令和6年9月7日（土）・9月8日（日）				佐賀県鳥栖市 鳥栖市陸上競技場			
	男子	第1位	第2位	第3位	女子	第1位	第2位	第3位
		鹿児島県	滋賀県	石川県		神奈川県	鳥取県	埼玉県

※ 第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は令和5年（2023年）に延期。

※ 第76回国民体育大会「三重とこわか国体」は中止。

競 技 結 果

競技結果 URL に関する情報について

【競技結果】

■インターネット・携帯サイト

https://shiga-sports2025.jp/kokuspo/competition?competition_cat=public



■大会情報

○日本ゲートボール連合（JGU）公式ウェブサイト

（【第 79 回国民スポーツ大会【公開競技】ゲートボール競技会】最新情報ページ）

<http://gateball.or.jp/game/kokutai/>



○公式 Facebook

<https://www.facebook.com/japangateball/>



○公式 Instagram

<https://www.instagram.com/japangateballunion/>

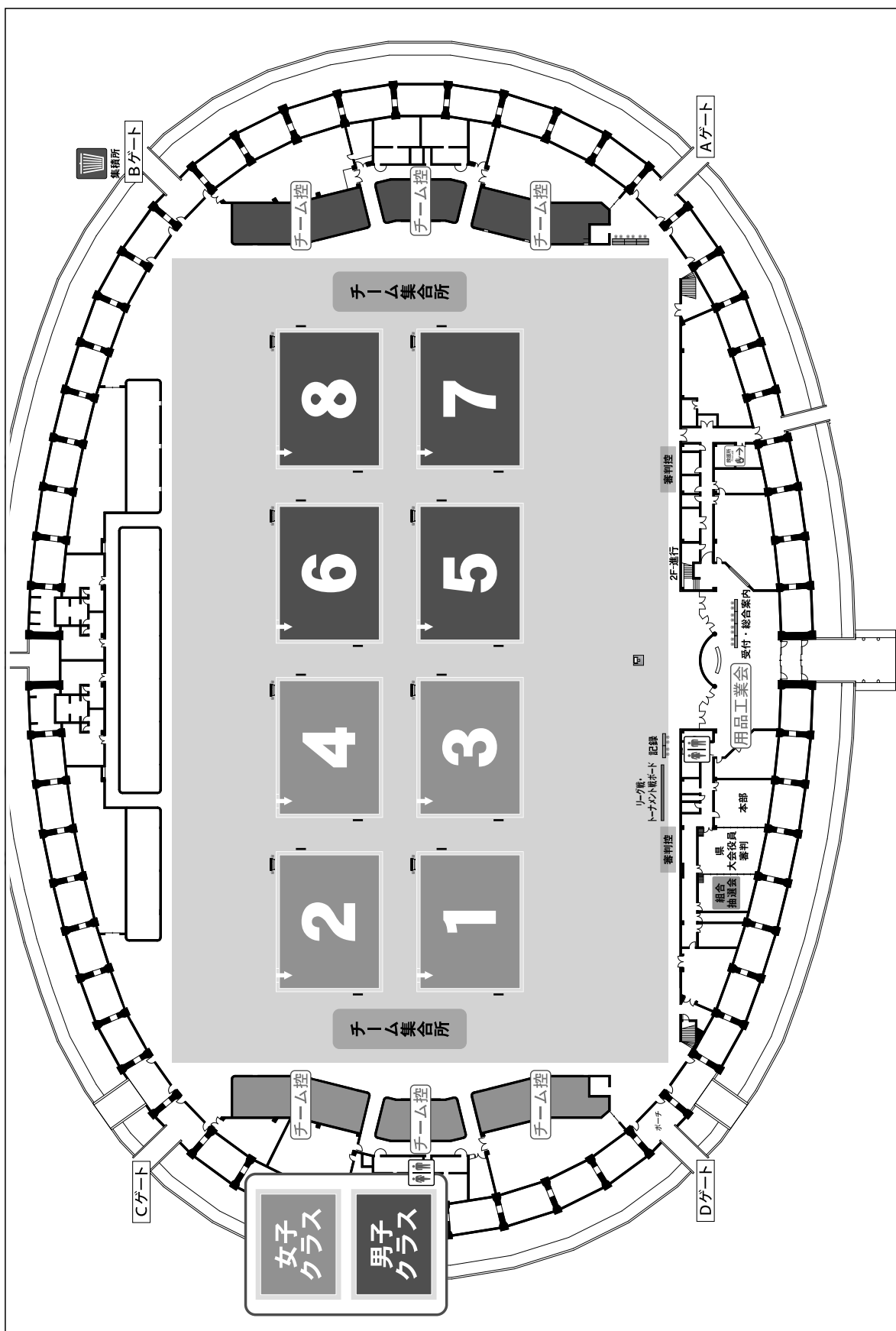


○公式 Twitter

<https://twitter.com/japangateball>



競技会会場図



[illegible]

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@gateball

うれしい情報をLINEでお届け!



©JGU

LINE スタンプ 配信中



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPO事業についてはこちら»»»JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

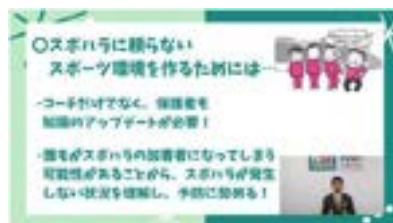


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>

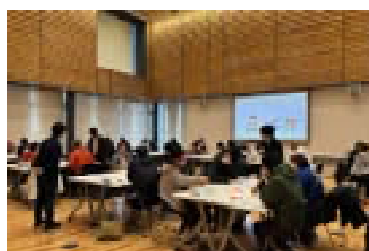


<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>





挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



大塚製薬



Mizuno

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ・大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ・研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ・SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ・盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ・SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ・匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。

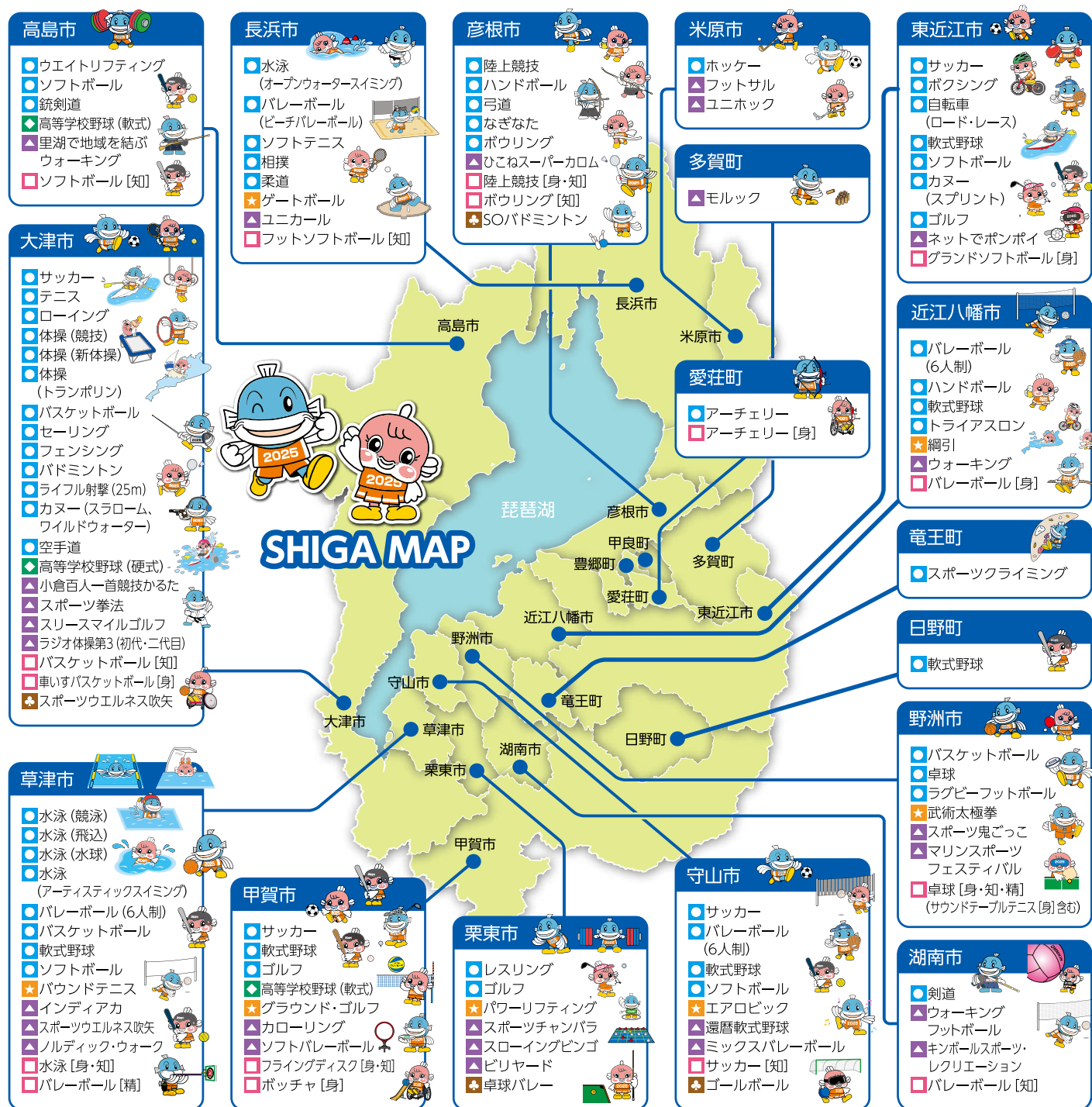


Japanese
Olympic
Committee



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- 特別競技(1競技)
- 公開競技(7競技)
- デモンストラションスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。

※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府 向日市

- 自転車(トラック・レース)

大阪府 豊能郡能勢町

- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)

兵庫県 三木市

- 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

- 国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
- 国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)
- 障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR

動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



Instagram



X



大会HP



ミックス
紙に責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
FSC® C017322



●用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
●インキ: 植物油インキを使用